

# 緑樹

発行者  
清川村立緑中学校  
小島 一浩  
所在地  
清川村煤ヶ谷 1933  
Tel 046-288-1241  
ホームページアドレス  
<http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori-jhs/>

## 大きく飛躍するために

校長 小島 一浩

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、保護者の皆さまにおかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、日頃より、本校の教育活動に対してご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、五月二十八日（土）の体育大会は、スローガン『みんなのハート打ち抜くぞ！』全力で感動を届けよう』のもと、多くの方々に感動を届けられたのではないかと思います。ふれあい席で、参観をされていた方から、「子どもたちの応援が素晴らしく、私も一緒に応援し、とても楽しい一日でした。来年も是非ともまた参観したい。」というお言葉をいただきました。そして、「ノミとコップ」という話があります。『身長数ミリのノミの跳躍力は、ガラスのコップの高さなんて楽勝で

## みんなの団結力が詰まった体育大会

当日は、早朝より保護者の皆さま、地域の皆さまには、大勢ご参観と応援をいただきありがとうございます。

さて、今年の体育大会は、天候にも恵まれ予定していた練習も全て実施でき、前日の雨も心配されなかったが、午後には止んで前日の準備も問題なくベストコンディションで実施できました。今年度のスローガンは『みんなのハート打ち抜くぞ！』全力で感動を届けよう』のもと、生徒一人ひとりが真剣に活動していた姿が随所に見られた大会であったと思います。応援や競技の中で各組とも練習の成果を發揮し、いろいろな場面で輝いていたと思います。

飛び越えられる。が、そんなジャンプ力を持つたノミをコップにいれてふたをする。ノミは、コップの中でびよんびよん跳んでも、ふたのところしか飛べない。それを繰り返すうち、コップの中で生活するノミは、コップまでの高さしか跳べなくなってしまう。コップから出しても、コップの高さ以上には跳べなくなってしまう。』という話です。

これは、多くのことを示唆していると思います。自分の持つ力、現状に満足してしまおうとそれ以上の力を出さず、来ないということや、自分自身で自分の限界を決めてしまおうとも言えると思います。それとは反対に、自分の目標の実現に向かって努力している時や、夢に向かって頑張ること、今の自分を変えていくことが出来る。そして、自分をどんどん大きく成長させることが出来ます。

七月に入り一学期もまとめの時期となりました。四月に立てた目標に対して自分だけ取り組めたか。そして、課題として残るものは何か。それらを自分で整理してみる。それが大切です。コップの中のノミとならないよう、今学期の反省を二学期に大きく飛躍するように生かしてほしいと思います。

特に三年生は、リーダーシップを取り、二年生を引っ張り、協力し団結して積極的に係や競技に取り組んでいたのが印象的でした。

今回の体育大会は、練習の成果と団結力が十分発揮できた素晴らしい体育大会であったと思います。勝負の世界なので勝ち負けは、仕方のないことですが、走り終わった後も赤白とも清々しい感じがしました。一生懸命に取り組んでいるから、それぞれの競技での勝敗で一喜一憂したり、後悔したりすることも良い経験だと思えます。今回の体育大会が終了すると、赤白の縦割りの活動が終わってしまいが、今後の活動でも、いろいろな場面で学年を越えて力をあわせて、みんなでカバールしながら成長していくってほしいと思います。

## 体育大会実行委員より

白組 実行委員長 朝倉 彩

今年の体育大会は、心に残る楽しい体育大会でした。みんなは、練習の時に疲れていてもいつも笑顔で頑張っていて、練習の時からすでに体育大会が始まっているんだなと思います。本番も一人ひとりが真剣に取り組み、最後まであきらめずに頑張っていました。今年は、みんながスローガンを達成できたと思います。今まで実行委員についてきてくれてありがとうございます。

赤組 副実行委員長 田中 伊織

一人ひとりの個性が出ていてとても良い体育大会になりました。無事にみんなで盛り上げられたことを誇りに思っています。練習の時からずっとケンをしたり、支え合ったり色々なことがありました。それら乗り越えて嬉しくなったことが、涙が出るくらい嬉しくなったことが、思ってくれたら良いなと思っています。



「校内研究会」  
 〓三年生英語科の授業〓

今年度の校内研究会のテーマを「全員が参加できる授業づくり」として、互いに力を高め合う学習方法の工夫として、三年生英語科の授業を行いました。グループ内でペアをつくり、有名人へのインタビューを聴いて誰への発表し、それを聴いて誰へのインタビューを通して、英語でコミュニケーションをとる感覚を養いました。自分たちの考えたインタビューの台本をもとに、お互いに発音を注意し合い、楽しい発音がゲームに全員が参加し、協力して頑張っていた姿が印象的でした。



明日の緑中をみんなて話し合う！

「緑中 生徒総会開かれる」

六月九日（木）、全校生徒参加による生徒総会が開催されました。昨年度の活動報告や今年度の活動計画等を各委員長がしっかりと提案し、それに対する質問も出されました。

今回の総会も事前に各クラスで議案検討が行われ、生徒の多くが「緑中学校を良くしたい」「私たちも学校生活をこんな風に変えたい」という自分たちの学校生活に対する問題意識をしっかりと持って総会に臨んでいたと思います。第五号議案は、学校生活のきまりに対する意見や要望について話し合われ、三年生からは、学年を越えた交流を増やすために昼休みの体育館開放のルールを変更したいという意見が出され、承認されたので、今後職員会議を経てルールが変更される予定です。生徒会役員と専門委員長と学級委員で構成される評議委員会でも様々な課題を話し合い、よりよい緑中を目指していきます。

縦割り道德  
 「ありがとう」の思いを込めて

体育大会終了後の六月七日に縦割り道德を実施しました。体育大会実行委員が、リーダーとなり、ゲームを運営したり、グループ内の司会をして、「人々の善意や支えに感謝したい」と「伝えられて嬉しかったありがとう」や「伝えたいありがとう」について考え、グループ内で発表し、意見を共有しました。最後に、それぞれの組で個人種目、団体種目、応援合戦でのMVPを選び、披露しました。みんなて頑張りを称えました。



四年連続県大会出場

〓県央地区通信陸上大会開催〓

六月四日（土）と五日（日）の二日間にかけて県央地区通信陸上競技大会が、大和運動公園で行われ、陸上部の生徒が参加しました。天候は一日目は強風、二日目は雨と生憎な天候でしたが、多くの選手が自己ベストを出すなど活躍を見せました。男子共通砲丸投げで三年の齋藤祥太郎さんが10m50cmを投げ、二位入賞を果たしました。齋藤さんは七月二日（土）から開催される県選抜陸上大会（二ツ沢競技場）と十六日（土）から開催される県通信陸上大会（Shonan B M W スタジアム平塚）に県央地区の代表として出場します。



7月・8月の予定

- 1日（金） 学校朝会 人権アンケート
- 4日（月） 学校保健委員会
- 5日（火） 進路ガイダンス
- 9日（土）10日（日） 厚愛地区総体
- 11日（月） 三者面談・1, 2年水泳授業
- 12日（火） 三者面談
- 13日（水） 三者面談・1, 2年水泳授業
- 15日（金） 給食終了 福祉人権体験学習
- 19日（火） 芸術鑑賞会（せせらぎ館）大掃除 弁当持参
- 20日（水） 1学期終業式 ダンス発表会
- 24日（日） 清川ホームサマーフェスティバル
- 8月 7日（日） うろこ付け
- 8月 11日（木） 青龍祭
- 8月 27日（土） PTAふれあい行事（登校日）
- 9月 1日（木） 2学期始業式